

「に」げすに
「し」んじて
「かん」しゃして
「き」ようりょくする



～作文『マラソン記録会』～

先日行われたマラソン記録会、子どもたちの作文を紹介します。

「マラソン記録会」



【12/3（水）マラソン記録会後の感想文より】

- ・今日は、マラソン記録会でした。マラソン記録会の練習期間の半分は学級へいさだったので、練習がなかなかできませんでした。でも、最後の練習の日に、自分がマラソン記録会当日にくらいのない記録会になるようにがんばりました。当日は、足がすこしきん肉痛で大じょうぶかな?と思いました。走る前は、とてもきんちょうし、走れるのかなと思いました。息をととのえて、お母さんから教えてもらった息のしかたをしました。すると、ドキドキがすこしおさまり、走れる準備ができるような気がしました。本番がやってきて、ついに走る順番がやってきました。走ってみると、練習した時よりすこし長く感じました。やっと走りおわったと思うと、前には私より早くついた子がとてもいました。もちろん順位はおちていました。くやしかったです。ぜったいに来年こそは、今日の順位よりはやい順位になる!!と決意しました。【5年】

- ・マラソン大会、自分の自己ベストをこえられなくて、すごくかなしいです。だけど、自分が前に進んでいるとはわかったけど、もっと自分の自己ベストをこえられなくても、みんながおうえんしてくれたから、自分もあきらめずにやりとげて、未来の自分でもっと走って、自分の自己ベストをこえたいです。【4年】

- ・今年のマラソン記録会は、みんなめちゃくちゃ速くなっていて、びっくりしました。今まで一桁の順位だったけど、今年は一桁に入れなくて悔しかったです。走っていて、トラック1周目でめちゃくちゃ疲れていて驚いて、鐘がなった時は、もう足の感覚がなくてしんどかったです。最後の直線では、みんなに抜かされて悔しい気持ちがいっぱいありました。これが最後になるマラソンなのに、良い記録が出ずだめでした。これからは悔いを残さないようにしていきたいです。【6年】

- ・12月3日、きょうぎじょうでマラソン記ろく会がありました。おうちの人が「がんばれー。」と言ってくれて、朝、おうちの人が言ってくれたことを思い出しました。「さいごまで走れたらいい。」と言っていたのを思い出すだけでなみだが出そうになりました。それで、足がはやすくなりました。うれしかったです。前よりもはやすく走りました。【2年】

- ・しんどくても、よこばらがいたくても、さいごまで走れてうれしい。先生に、走るまえにジャンプするといいということをおしえてもらいました。来年のマラソン記録会を元気にむかえたいです。【3年】

- ・私はマラソン記録会をして、自分の力を発揮できたと思います。お母さんが「がんばれ！」って言ってくれたので、勇気をもらいました。走る前は緊張していたけど、最後のマラソン大会だし、おじいちゃん、おばあちゃんもとおいところから来てくれたので、全力で走れました。ゴールしてから、体調をくずしちゃったけれど、最後まで走れたので良かったです。帰ったら、お母さんに褒めてもらいたいです。【6年】

- ・去年よりも距離が伸び、練習も大変でしたね。よくがんばりました。マラソン練習に限らず、何事もがんばった事が次への経験になるので、無理をしそうない程度にがんばってください。本当にお疲れさまでした。そして、次へFIGHT～！【保護者】
- ・集中して、声が聞こえないぐらい必死に頑張って、とても感動しました。顔を真っ赤にしながら真剣な姿、かっこよかったよ。【保護者】

